

## 令和4年度事業実施報告書

### 1 会議等の開催

#### (1) 通常総会の開催

開催年月日	協議事項	開催場所
令和4年5月24日 (第83回)	1 令和3年度事業実施報告・決算 2 令和4年度事業計画・予算	神戸メリケンパーク オリエンタルホテル

#### (2) 役員会議の開催

役員会の区分	開催年月日(場所)	主な協議事項
監査	令和4年4月14日	1 令和3年度事業実施結果及び収支決算報告
理事会 (第1回)	令和4年4月27日 (兵庫県民会館) 「亀の間」	1 第83回通常総会の開催 2 令和3年度事業実施報告・決算・監査報告 3 協会長表彰受賞者選出(優良会員・事業所) 4 安全センター理事長表彰推薦者の決定
理事会 (第2回)	令和4年12月7日 (兵庫県民会館) 「鶴の間」	1 事務局の職制改正及び次年度職員採用 2 就業規則の改正 3 事業部会における広報委員会の検討結果と今後の会報、広報活動 ほか
理事会 (第3回)	令和5年3月7日 (兵庫県民会館)	1 令和5年度事業計画・予算 2 第84回通常総会の開催 ほか
正副会長会議	令和4年7月20日 令和5年2月24日	1 講習会の開催状況及び開催予定報告 2 事業活動実施状況、予算執行状況 ほか
総務部会	令和4年9月21日	平成4年度検討事項の確認
事業部会 広報委員会	令和4年7月12日 令和4年11月9日 (兵庫県民会館)	広報委員会の開催 会報「兵庫のまもり」の作成方針 協会事業の一般向け広報 ほか

#### (3) その他の会議等

会議の区分	開催年月日・場所	主な協議事項
全国協会事務局職員研修会議	令和4年7月7日 東京・機械振興会館	・総合保険事務・講習事務の取り扱い ほか (事務局職員1名参加)
令和4年度消防防災福利厚生支援事業運営委員会	令和4年5月16日 東京・日本消防設備安全センター会議室	・令和3年度事業報告 ・令和4年度事業計画案 ・その他 (会長出席)
都道府県消防設備協会会長会議	令和4年11月4日 東京・明治記念館	(総務省消防庁予防課講演) 「最近における予防行政の動向」 その他連絡事項 (事務局長代理出席)
近畿ブロック連絡協議会	令和5年2月21日 びわ湖大津プリンスホテル	・点検資格者オンライン講習の開催状況 ・点検済表示制度の推進について ・会費失効状況及び決算報告 ・その他連絡事項 (会長・副会長2名出席)

## 2 講習会の開催

### (1) 消防設備士予備講習会

令和4年6月20日から6月30日まで兵庫県民会館で開催（延べ232名受講）

### (2) 消防設備士講習会

実施結果

実施区分	講習日	会 場	受講者数
消火設備 第1類、第2類 第3類	9月13日	尼崎市中小企業センター	119
	9月26日	姫路労働会館	125
	10月5日	明石市生涯学習センター	96
	10月20・21日	兵庫県中央労働センター	165
	小 計		505
警報設備 第4類、第7類	9月14・15日	尼崎市中小企業センター	260
	9月27・28日	姫路労働会館	252
	10月6日	明石市生涯学習センター	174
	10月24～26日	兵庫県中央労働センター	360
	小 計		1,046
避難設備・消火器 第5類・第6類	9月16日	尼崎市中小企業センター	164
	9月29・30日	姫路労働会館	218
	10月7日	明石市生涯学習センター	203
	10月27・28日	兵庫県中央労働センター	231
	小 計		816
合 計			2,367
殊消防用設備 特類消防設備士	令和4年11月7日	たかつガーデン(大阪市)	5
	令和5年2月7日		1
	小 計		6
令和4年度消防設備士講習兵庫県受講者総数(延べ)			2,373

効果測定

新型コロナウイルス感染防止のため、今年度は県と協議のうえ、特例として会場での問題、解答用紙の配布は行わず、講習終了後期間を限って当協会HPへ問題及び解答を掲載して受講者各自が任意の時間に試験を行うこととした。

### (3) 消防設備点検資格者講習

#### ① 再講習

区 分	実 施 年 月 日	会 場	申請者数	受講者数
第1種	令和5年1月24日・25日	兵庫県民会館	198	170
第2種	令和5年1月26日・27日	同上	160	150
合 計			358	320

#### ② 本講習

区 分	実 施 年 月 日	会 場	申請者数	受講者数
第1種	令和5年3月1日～3日	兵庫県中央労働センター	109	101
第2種	令和5年3月8日～10日	同上	78	77
合 計			187	178

## 3 会報の発行

「兵庫のまもり」新年号を発行し、会員・各消防本部等に配布した。

会報No.	発行日	発行部数	配 布 先
134	5年1月	400部	会員、県、県下消防本部、その他関係団体

#### 4 WEBによる情報の提供 (アクセス数 8,883件)

各種講習会等の情報提供、住宅火災警報器関係販売店の情報提供、表示登録会員名簿の情報提供、届出用紙等の情報提供、消防用設備等の取り扱い事業所名簿の情報提供

#### 5 叙勲・表彰

##### (1) 消防庁長官表彰

令和4年11月4日 明治記念館 三木 均 様 (株式会社興電社)

##### (2) (一財)日本消防設備安全センター理事長表彰

① 消防設備保守関係者に対する表彰 令和4年11月4日 明治記念館(東京都港区)

蓬萊昭治 様 (株式会社ほうらい電気)

西村栄俊 様 (株式会社西村電気工事)

山下史郎 様 (興和防災株式会社)

② 優良事業所表彰 令和4年11月4日 明治記念館(東京都港区)

株式会社川越 (代表者 川越 渉 様)

##### (3) 兵庫県消防設備保守協会長の優良会員会長表彰

###### <優良会員>

事業所名	支部別	入会年
(株)タックギケン	神戸支部	平成15年
(株)伸成		平成15年
(有)防災アラーム	阪神支部	平成16年
ジホーキ(株)	播但支部	平成15年
(株)白水	東播支部	平成14年

###### <優良事業所>

(株)川越 (東播支部)

#### 6 消防用設備等点検済表示制度

##### (1) 消防用設備等点検済表示管理委員会の開催

実施日	実施場所	主な審議内容
令和4年11月8日	兵庫県民会館	1. 点検済表示制度登録、廃業会員の状況 2. 表示制度更新登録会員の状況 ほか

##### (2) 消防用設備等点検済表示登録会員数 (件) 令和5年3月31日現在

区分	1号表示登録会員			2号表示登録会員			総計
	会員	会員外	小計	会員	会員外	小計	
登録数	171	9	180	4	4	4	184

##### (3) 点検済ラベル発行状況 (枚) 令和4年4月1日～令和5年3月31日

区分	1号会員		2号会員	計	補助ラベル
	会員他	他府県			
消火器用	497,083	181,114	7,320	685,517	
設備用	208,008	92,868	1,630	302,506	
要整備・改修					200

薬 剤 詰 替					200
バルブ類					870
計	705,091	273,982	8,950	988,023	1,270

(4) 点検済表示登録の更新

更新申請者 1号会員 20件

(5) 消防用設備等点検済表示登録会員名簿の送付 令和4年7月7日

「消防用設備等点検済表示登録会員名簿」を登録会員及び県下消防機関に送付

7 防火対象物定期点検報告制度

防火セイフティマークの斡旋数(件) 令和4年4月1日～令和5年3月31日

区分	斡旋数	通算の斡旋数
防火基準点検済証	7	924
防災基準点検済証	0	11
防火・防災基準点検済証	4	106
防火優良認定証	12	1431
防災優良認定証	1	12
防火・防災優良認定証	9	65
合計	33	2549

8 会員数の変動(令和5年3月31日現在)

(1) 正会員

前年度末会員数	年度内入会者数	年度内退会者数	当年度末会員数
280	4	4	280

(2) 各支部の会員数

神戸支部	阪神支部	東播支部	播但支部	計
99	68	44	69	280

(3) 賛助会員及び特別会員数

区 分	前年度末会員数	年度内入会者数	年度内退会者数	当年度末会員数
賛助会員	6	0	1	5
特別会員	1	0	0	1

9 支部事業の概要

(1) 支部の運営

地域に根ざした支部運営のため、定額の助成金相当額・会員数に見合う交付金相当額の予算を作成して、特色のある各支部事業を実施しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大による自粛により各支部の活動が制限された。

(2) 事業実施状況

① 神戸支部

ア 支部会員の知識向上と業務に活用してもらうために神戸市消防局査察課監修により、神戸市消防関係法令集を作成して支部会員に配布した。この法令集は、神戸市消防局査察課から市内各消防署にも配られて消防業務に活用されている。

イ 今年度も前年度同様、コロナ禍の感染拡大リスクを考慮し、研修会、イベント、

講習会等の実施は自粛した。

ウ 火災から身を守るための安全・安心の啓発促進のため、引き続き、神戸市消防局と連携して住宅用火災警報器の電池の取り換えや消防用設備等の点検実施を広報した。

② 阪神支部

ア 防火普及啓発用品として、標語入りシャープペンシル(2,500本)、消防設備等の点検に係る情報を記載したクリアファイル(10,000枚)を作成し、阪神地区内の消防機関を通じて配布することにより、防火思想及び消防設備点検推進の啓発を行った。

イ 前年度同様、阪神支部内消防本部とともに廃棄消火器の回収を行った。

ウ コロナ禍の感染拡大リスクを考慮し、研修会、イベント、講習会等の実施は自粛した。

③ 東播支部

防火普及啓発用品として標語入り多機能ペン(1,820本)を作成し、東播地区内の消防機関を通じ配布することにより、防火思想の普及啓発を行った。

④ 播但支部

ア 姫路市消防局が播但支部内の消防機関と連携して各地域における防火防災活動イベントを開催した際に支部会員が交替で協力参加している。

イ 防火啓発用ボールペンを作成して配布した。

ウ 姫路市消防局と連携して、住宅用火災警報器の普及促進及び電池交換の実施を進めている。